外食業及び飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験（国内試験）における
試験運営業務の一部の業務の発注先となる契約候補者の公募について

2021年 4月 21日

一般社団法人 外国人食品産業技能評価機構

2021年度に当機構が行う外食業特定技能1号技能評価試験及び飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験の試験運営業務の一部を発注する相手となる契約事業者の候補者を以下の通り公募します。

I 発注する業務内容

当機構が実施する外食業及び飲食料品製造業の特定技能1号技能評価試験における試験実施業務のうち、試験当日の試験準備、受付、説明、試験監督、試験問題及び解答用紙の配布・回収等の業務（事前打ち合わせを含みます。）を当機構職員の管理（注1）の下で行います。

試験会場の予約及び確保は、基本的に当機構が行いますが、必要に応じて、契約事業者が発注することがあります。

（注1）当機構職員は、試験当日の各要員へ直接の指示をするものではなく、事業者側の当日の責任者に対する必要な指示、受付で行う本人確認の際に判断を求められた場合の指示等を行います。

II 選定方法

「別紙1」にある、次の1を必須要件とし、2及び3の合計評価点が高い上位事業者を1社選定します。各項目の提出資料及び配点は、「別紙1」の通りです。（注2）

（注2）提出された資料は、本件事業者選定の目的のためだけに使用します。

以下の提供を求める情報が、自社の既存の資料に含まれている場合は、既存の資料の提供でも構いません。その場合、どこにどの項目の情報が記載されているか分かるようにしてください（項目ごとに記述の該当ページを記載した一覧表を付けるなど工夫をしてください。）。

III 公募期限及び提出先

応募する事業者は、下記1～5の通りに提出をしてください。

1. 次の①～⑤を記載した資料を表紙とする
 - ①本件公募の表題名、②事業者名、③所在地、
 - ④連絡先担当者（氏名、電話番号、メールアドレス）、⑤事業者開設のHPのURL
2. IIの資料
3. 別紙2 契約に係る指名停止等に関する申し立て書
4. 公募期限： 5月7日（金）14時（厳守）までメールにて提出してください。

5. 提出先

一般社団法人 外国人食品産業技能評価機構 特定技能部 (tokutei@otaff.or.jp)
メールの件名は、「試験運営業務の応募【業者名】」と表記してください。

IV 選定された事業者との契約等

本件公募は、農林水産省の2021年度の外国人材受入総合支援事業の補助金交付決定を前提に行うものです。現在、当機構は同補助金の交付候補となっています。

今年度(2022年3月まで)の試験日程については、本件公募開始の時点ではまだ公表できません。回数は年間で3回を予定しています。今回の公募により選定された事業者と当機構との間で、機密情報漏洩禁止条項及び契約単価を含む基本契約を締結します。契約締結後、試験実施が見込まれるようになった後に、試験回毎の運営業務の経費見積、発注、請求及び支払等を行うこととなります。

試験が実施される場合の具体的な試験運営については、当機構から提供する「試験運営マニュアル(非公開)」に従って業務を行っていただきます。

V 本件公募に関する照会先

以下のアドレスまでメールでご連絡ください。

一般社団法人 外国人食品産業技能評価機構 特定技能部 (tokutei@otaff.or.jp)

以上

外食業及び飲食料品製造業特定技能1号技能測定試験（国内試験）における
試験運営業務の一部の業務の発注先となる契約候補者の選定上の配点

2021年 4月21日
一般社団法人 外国人食品産業技能評価機構

課題		提出資料 No.	提出資料	必須要件及び配点	
1	昨年度（2020年4月から2021年3月まで）、東京、大阪、その他地方都市において1会場1回で100人以上の規模の試験（注3）の受付、試験監督、試験問題及び解答用紙の回収等の業務の実績を有すること	1	昨年度の該当する実績が分かる資料	必須要件	
2 試験運営業務対応能力					
(1)	大都市および地方都市での試験実施対応能力 【指定都市】 大都市：東京23区、名古屋市、神戸市、福岡市 地方都市：札幌市、仙台市、金沢市、広島市、那覇市	2-1	(1)で指定している都市の都道府県別の登録要員数（「責任者要員レベル」、「補助員及び受付要員レベル」別に記載のこと）	20点	
(2)	試験問題、解答用紙、個人情報等の秘密保持、漏洩防止の信頼性	2-2	具体的な体制、手段、方法がわかる資料	15点	
(3)	試験会場の選定・確保の対応能力	2-3	試験会場としてどのような会場を何カ所確保できるかがわかる情報 (昨年度の実績で、試験会場として確保したことがある都道府県別の施設名称一覧を提供)	10点	
(4)	その他、試験運営業務の円滑な実施に有益な提案能力	2-4	上記(1)～(3)以外の項目で応募者の試験運営業務遂行能力を表す情報があればそのことがわかる資料	5点	
				小計	50点
3 経費 積算の適正性も含めて評価					
(1)	【東京開催】の場合の運営経費 (想定) 交通の利便性が高い会場（1室）で、120人規模の試験を午前8:30～午後18:30の間に3回実施する場合 上記の想定で、以下の①～③の業務に必要な経費と積算が分かる資料 ※会場確保・下見・会場設営に係る経費不要、試験当日に必要な備品不要で積算してください。 また、この場合は、前日に事前打合せ済みであるとの前提で積算してください。 ① 当日のスケジュール ・08:30～会場集合（試験準備及び受付） ・09:10～受付開始（受付要員最低3人（1人あたり受験者40名を想定）） ・09:45～受験者への注意事項説明（監督員レベル1名）、試験問題等配布 ・10:00～試験開始、試験中不正がないように監視（試験監督要員3人（1人あたり受験者40名を想定）） ・11:20～試験終了後、試験問題及び解答用紙等の回収 (その後、午前中と同じ事務の流れで午後に2回試験を行い、計3回で360名分の試験を実施します。) ② 3回目の試験終了後、1～3回分の解答用紙及び備品等の当機構への確実な輸送（注4） ③ 試験問題等の溶解作業（注5）を実施	3-1	積算がわかる資料	20点	
(2)	【地方開催】の場合の運営経費 (想定) 札幌市、仙台市、金沢市、広島市、那覇市において、交通の便が比較的良好な会場（1室）で100人規模の試験を午後に実施する場合 上記の想定から、都市ごとに以下の①～③の業務に必要な経費と積算が分かる資料 (会場確保・下見・会場設営に係る経費不要、試験当日に必要な備品不要で積算してください。) ※再委託を行う場合は、その経費が分かるように記載してください。 出張対応が必要な場合は、必要な旅費等を積算してください。 ① 当日のスケジュール ・09:30～事前打ち合わせ ・11:00～会場設営等の試験準備 ・12:30～受付開始（受付要員3人） ・13:15～受験者への注意事項説明（監督員レベル1名）、試験問題等配布 ・13:30～試験開始、試験中不正がないように監視（試験監督要員3人） ・14:50～試験終了後、試験問題と解答用紙等回収 (その後、午前中と同じ事務の流れで午後に1回試験を行い、計2回で200名分の試験を実施します。) ② 解答用紙及び備品等の当機構への確実な輸送（注4） ③ 試験問題等の溶解作業（注5）を実施	3-2	積算がわかる資料	30点	
				小計	50点
				合計	100点

(注3) 1会場で1日に複数回の試験を行う場合は、各回の試験の規模で判断して下さい。また、複数の会場で行う試験の場合、全ての会場が100人以上である必要はありません。

(注4) 具体的な輸送の方法についても提示してください。

(注5) 溶解証明書を当機構に提出してもらいます。その具体的な手段についても提示してください。

契約に係る指名停止等に関する申立書

年 月 日

〔補助事業者〕 殿

所在地
商号又は名称
代表者の役職及び氏名 印

当社は、貴殿発注の物品・役務契約の競争参加に当たって、当該契約の履行地域について、現在、農林水産省の機関から物品・役務契約に係る指名停止の措置等を受けていないことを申し立てます。

また、この申立てが虚偽であることにより当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

- (注1) この申立書において、農林水産省の機関とは、本省内局及び外局、施設等関、地方支分部局並びに農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターをいう。
ただし、北海道にあっては国土交通省北海道開発局、沖縄県にあっては内閣府沖縄総合事務局を含む。
- (注2) 「指名停止の措置等」の「等」は、公正取引委員会から、私的独占の禁止及公正取引の確保に関する法律に基づく排除措置命令又は課徴金納付命令を受けた者であって、その命令の同一事案において他者が農林水産省の機関から履行地域における指名停止措置を受けた場合の当該公正取引委員会からの命令をいう。
なお、当該命令を受けた日から、他者が受けた指名停止の期間を考慮した妥当な期間を経過した場合は、この限りでない。